

第26回

高校生による海外エネルギー事情研修会 実施報告書

「サステイナブル ～ ハッケンしよう！ 夢の切符 ～」



令和 2年 2月28日
青森県商工会議所連合会

1. 研修参加者

【高校2年生 6名】

八戸聖ウルスラ学院高等学校

青森県立青森南高等学校

八戸工業大学第二高等学校

青森山田高等学校

五所川原第一高等学校

青森県立五所川原工業高等学校

ウシキ
牛木

オガサワラ
小笠原

ササキ
佐々木

サトウ
佐藤

チバ
千葉

ノミヤ
野宮

リン
鈴

マナ
愛奈

ハルナ
陽菜

ミレイ
海麗

ナルト
成人

キヨム
白夢



【引率者】

青森山田中学高等学校 副校長

青森商工会議所 経営相談課 主幹

木村 郁子

大里 大輔

2. 本研修の目的

- 欧州2か国のエネルギー事情を学び、エネルギー資源が乏しい日本において、将来のエネルギーはどうあるべきか、その中で青森県はどのような役割を果たすことが望ましいのか、自分なりに考えをまとめて発表する
- 様々な視点で物事を見つめることや、海外の異文化に触れることで、自分自身の「成長」につなげる

◎発表や議論の場を通じて、「自分の意見を述べる力」を身につける

- エネルギー施設の視察（日本、スウェーデン、フランス）
- スウェーデン、フランス両国の高校生との交流
 - ・ 英語による自己紹介
 - ・ 日本や青森についての紹介（文化、生活など）
 - ・ エネルギー問題に関するプレゼンテーション&ディスカッション
 - ・ その他、文化交流、食事会など
- スウェーデン、フランス両国の文化（歴史、食、習慣など）に触れる
- 多くの人たち（生徒、引率者）とのコミュニケーション

3. 全体スケジュール

- (1) 募集案内 8月16日(金) 県内全高校に案内文書発送
 9月20日(金) 応募締切 28校34名応募

- (2) 当選通知 10月 8日(火) 当選通知文書発送

- (3) 事前研修会① 11月 4日(月)～5日(火) (むつ市ほか)
 東北電力(株)東通原子力発電所、
 日本原燃(株)原子燃料サイクル施設等を見学

- (4) 事前研修会② 1月 4日(土)～6日(月) (青森市)

- (5) 海外研修 1月27日(月)～2月7日(金) (12日間)

- (6) 青森県知事報告会および座談会 2月28日(金)

4. 海外研修日程(1)

| | 月日 | 行 程 | 実 施 内 容 |
|---|-------------|--|---|
| 1 | 1/27 (月) | 青森県内各地 ⇒ 東京都内 ⇒ 東京(泊) | ●新幹線で東京へ移動 ●スウェーデン、フランス大使館を表敬訪問等 |
| 2 | 1/28 (火) | 羽田空港 ⇒ ミュンヘン空港経由 ⇒ アーランダ空港 ⇒ スtockホルム(泊) | ●飛行機でスウェーデンへ移動 ●到着後、バスにて移動 |
| 3 | 1/29 (水) | ストックホルム ⇒ ウプサラ(泊) | ●ストックホルム市内見学(市庁舎等) |
| 4 | 1/30 (木) | ウプサラ⇒エストハンマル ⇒ ウプサラ(泊) | ●フォルシュマルク技術高校の生徒と交流会・ 昼食会 ●「フォルシュマルク中・低レベル放射性 廃棄物貯蔵施設」見学 |
| 5 | 1/31 (金) | ウプサラ(泊) | ●カテドラル高校の生徒と交流会・夕食会 |
| 6 | 2/1 (土) | ウプサラ⇒アーランダ空港 ⇒ ドゴール空港 ⇒ パリ(泊) | ●飛行機でフランスへ移動 ●パリ市内見学(ノートルダム寺院等) ●前半の成果と反省を振り返り |

4. 海外研修日程(2)

| | 月日 | 行 程 | 実 施 事 項 |
|----|------------|-------------------------------|---------------------------------|
| 7 | 2/2 (日) | パリ ⇒ モンサンミッシェル ⇒ シェルブール(泊) | ●世界文化遺産「モンサンミッシェル」見学 |
| 8 | 2/3 (月) | シェルブール ⇒ ラ・アーグ ⇒ シェルブール(泊) | ●オラノ社「ラ・アーグ再処理施設」見学 |
| 9 | 2/4 (火) | シェルブール(泊) | ●グリニャール高校の生徒と交流会・夕食会 |
| 10 | 2/5 (水) | シェルブール ⇒ パリ(泊) | ●ベルサイユ宮殿見学 |
| 11 | 2/6 (木) | パリ ⇒ ドゴール空港 ⇒ (機内泊) | ●パリ市内見学(ルーブル美術館等) ●飛行機で帰国の途へ |
| 12 | 2/7 (金) | ⇒ 羽田空港 ⇒ 東京駅 ⇒ 青森県内各地 | ●羽田到着後、東京駅から新幹線で移動 |

5. 参加者の個人目標(1)

高校生6名は全員で相談し、研修期間中の全体目標(スローガン)として、『サステイナブル ～ ハツケンしよう！ 夢の切符 ～』を掲げ、個人目標も設定して今回の海外研修会に臨みました。

| | | |
|-----------|--------------|---|
| 牛木 鈴 | エネルギー・原子力学習面 | ●日本と海外(スウェーデン、フランス)のエネルギーに対しての違いについて理解する。 |
| | 現地高校生との交流面 | ●積極的に話しかける。 |
| | 生活・文化面 | ●時間厳守。 ●日本との文化の違いを発見し、楽しむ。 |
| 小笠原 愛奈 | エネルギー・原子力学習面 | ●フランス、スウェーデンのエネルギー事情について理解し、今より明確な意見を持つ。 |
| | 現地高校生との交流面 | ●積極的に交流し、英語でたくさん話せるようにする。 (自分から話しかける) |
| | 生活・文化面 | ●見るもの、口にするもの一つひとつを大切にして、両国の文化や生活について少しでも知識をつける。 |

5. 参加者の個人目標(2)

| | | |
|-------|--------------|--|
| 佐々木陽菜 | エネルギー・原子力学習面 | <ul style="list-style-type: none"> ●日本との違い、共通点を見つける。(管理の仕方、安全面など) ●原子力発電とその処理に対する意識や考えをしっかりと聞いて学ぶ。 |
| | 現地高校生との交流面 | <ul style="list-style-type: none"> ●できるだけたくさんの人と交流して、意見を聞く。 ●文化や慣習を教えあう。 |
| | 生活・文化面 | <ul style="list-style-type: none"> ●時間を守って、まわりに迷惑をかけないように自己管理を徹底する。 ●日本の文化とそれぞれの国の文化の違いを学ぶ。 |
| 佐藤海麗 | エネルギー・原子力学習面 | <ul style="list-style-type: none"> ●スウェーデンは、原子力を廃止するかわりに何を主に使うようになるのか、どのように見直すのかを知りたい。 ●メリット、デメリットを十分に理解し、自分の将来の夢に役立てたい。 |
| | 現地高校生との交流面 | <ul style="list-style-type: none"> ●「日本」「青森」について、わかりやすいように写真や動画を使って、もっと知ってもらいたい。 ●食事や休憩時間の際に、自分から話しかける。 |
| | 生活・文化面 | <ul style="list-style-type: none"> ●今、日本で問題になっている少子化や高齢化の対策をどうしているのかを知りたい。 ●フランス、スウェーデンの郷土料理を知りたい。 |

5. 参加者の個人目標(3)

| | | |
|----------|--------------|---|
| 千葉 成人 | エネルギー・原子力学習面 | ●他国ではどのようにしてエネルギーを得ているのかよく考え、見て、学び、輸入に頼っている日本をどう改善できるか自分なりの結論を出す。 |
| | 現地高校生との交流面 | ●現地高校生との交流で、コミュニケーション能力をさらに伸ばし、異なった価値観を学ぶ。 ●海外の学校の会則を学び、自分の学校にも活かせるかを学ぶ。 |
| | 生活・文化面 | ●生活や文化の違いを楽しみ、吸収する。 ●日本はどのように見られているかを学ぶ。 |
| 野宮 白夢 | エネルギー・原子力学習面 | ●原子力発電へのテロや事故への対策について知りたい。また、それに対して地元の高校生はどう思っているのかを知りたい。 |
| | 現地高校生との交流面 | ●固定概念を捨てて、興味を持って交流する。 |
| | 生活・文化面 | ●日本の文化を広めるだけでなく、現地の文化を吸収すること。 ●知見を広げる。 |

6. 研修スナップ ①

◆令和元年11月4日(月), 5日(火) (第1回事前研修会)



写真①



写真②

写真①
・エネルギー事情学習会他

写真②
・東通原子力発電所視察

写真③
・六ヶ所原燃PRセンター視察



写真③

◆令和2年1月4日(土)～6日(月) (第2回事前研修会)



写真①



写真②

写真①
・プレゼン資料の事前発表会

写真②
・放射線基礎講座(実験他)

写真③
・前回参加者からアドバイス



写真③

◆令和2年1月27日(月) (出国前日の大使館表敬訪問・現地事情受講)

< スウェーデン大使館 >
(竜啓介氏)



< フランス大使館 >
(ジャン=バティスト・ルセック公使 他)

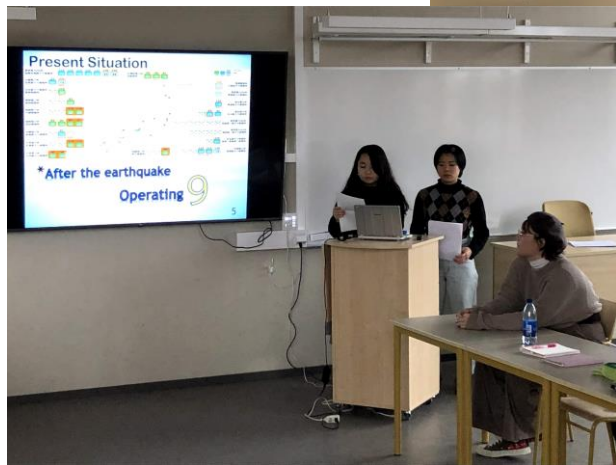


6. 研修スナツプ ②

◆令和2年1月30日(土) (フォルシュマルク技術高校の生徒と交流会・昼食会)



◆令和2年1月31日(日) (カテドラル高校の生徒と交流会・夕食会)



6. 研修スナップ ③

◆令和2年2月2(火), 3日(水) (「モン・サン・ミッシェル」、「ラ・アーク再処理施設」見学)



◆令和2年2月4日(木) (グリニャール高校の生徒と交流会・夕食会)



6. 研修スナツプ ④

◆令和2年2月5(金), 6日(土) (ベルサイユ宮殿、ルーブル美術館等パリ市内見学)



7. 研修を終えて（1）

牛木

今回の研修は全体目標である「サステイナブル～ハッケンしよう！夢の切符～」を達成するために多くのものを学べたと思います。相手に自分の考えを押し付けるのではなく、どうしたら良いのか互いに考え気づくという行動が今回の研修で身についたような気がします。

鈴

研修を通して、私はまだまだエネルギーについての知識が足りないと感じたので、研修後もインターネット等で調べて未来の発電のあり方などに自信を持って意見を述べられるようにしたいと思います。

小笠原

今回、このような貴重な体験をさせていただきエネルギーについての知識を蓄えるだけでなく、多くの方とかわって行く中で視野が広くなり内面的に大きく成長することができました。現地の高校生とも英語で積極的に交流でき、充実した時間となりました。

愛奈

日本ではエネルギー教育がまだ十分ではないためエネルギーには無関心な若者が多いと思います。しかし、現地の高校生は専門的な知識に加えしっかりとした持論を持っておりエネルギーに対する意識の違いを感じました。今後は自らがエネルギー問題について発信する立場となり今回学んだことをきちんと将来に活かしていきたいと思います。

7. 研修を終えて（2）

佐々木
陽菜

私たちが設定した全体目標、サステナブルに込められたあらゆる面での持続可能な発展。私は特に、現地で出会った高校生たちとのコミュニティと、エネルギーの面から見た地球環境に関して、それがあると感じました。高校生たちとはSNSを通して交流を続け、今後もお互いに様々なことを教え合っていきたいです。そして、私たちがエネルギーをうまく活用し、安定したバランスを保てば、より良い未来を創っていけると思っています。

佐藤
海麗

私は今回、この研修に参加してみて原子力に対する考え方が大分変わったと思います。それに加え、日本に一番適していると思う安定したエネルギー供給ができる「エネルギーミックス」についての意見交換もでき、いろんな考え方を知ることができました。

スウェーデンの原子力関係の職場で働いている人は「今の原子力に関する問題は、次の世代まで伸ばしてはいけない」という考えを持ちながら毎日働いていることに本当に感動しました。日本と違いエネルギーに対する意識の違いはそれだけでなく、海外の高校生とのディベートでもはっきりしたと思います。日本も福島事故の件を先伸ばしにするのではなく、今すぐにでも解決しなければいけないと思いました。

他にも、将来に対する考え方だったり、これからの私たちはどのようにすべきなのかを、考えさせられる良い機会になったと思います。そしてこれから私は、まずは大学合格に向けて勉強に取り組み、それから留学などをし、今回身に付けることができた事を十分に活かしていきたいと思います。

7. 研修を終えて（3）

千葉
成人

今回、私を含め6人で様々な経験をしました。授業では習うことのできない内容や現地の高校生との交流は、貴重であり私を成長させたものでした。

エネルギーでのディスカッションでは、現地の高校生の考えに驚きを感じました。日本の学生のほとんどが持っていない知識を持っていたのです。私はもっとエネルギーについて向き合うべきだと感じました。

私は将来教師を目指しています。今回の研修で得た知識や考え方を伝えられるように日々精進し、この経験を無駄にしないようにします。

野宮
白夢

今回、スウェーデンとフランスを訪れ、放射性廃棄物貯蔵施設や再処理工場の見学、現地高校生とのディスカッション、文化交流など非常に有意義な研修となりました。

ディスカッションでは、現地高校生のエネルギーに対する関心の高さや各発電方法に対する考え方の違いに驚きました。また、文化交流では、部活動で学んでいる少林寺拳法の技を披露し、簡単な動きを教えることができました。少林寺拳法に興味をもってくれたことは、非常に嬉しかったです。

私の将来の夢は、工業高校の教師になることです。そのために、エネルギーの勉強は不可欠であることを再確認しました。

今回の研修会で学んだことをきっかけに、さらにエネルギーに関する知識を深めたいと思います。